

由比・蒲原地区のまちづくり

この地区で目指す姿

地域の歴史や文化、美しい景観や食の魅力に触れながら、こどもから大人まで地域での時間を楽しむことができるまち

実現に向けた主な取組

1. 蒲原地区文化財施設改修

- 蒲原地区の歴史的建造物を改修し、地域の歴史や文化を未来へ継承するとともに、まちづくりの拠点として活用します。

2. 東海道広重美術館改修

- 安全で快適に鑑賞できる環境を整備し、東海道の歴史や文化に触れる機会の充実を図ります。

3. 道の駅「(仮称)蒲原」整備

- 休憩・防災機能の強化と、地域の特産品や魅力を発信する拠点を整備します。

4. こどもの遊び場設置・運営

- 天候に左右されずこどもが思い切り遊べる屋内型遊び場を整備し、子育て世代が利用しやすい環境を充実します。

5. 街道を軸とした広域観光の推進(東海道53次・57次)

- 東海道二峠八宿の歴史資源を活かし、周辺自治体と連携した広域的な観光地域づくりを進めます。

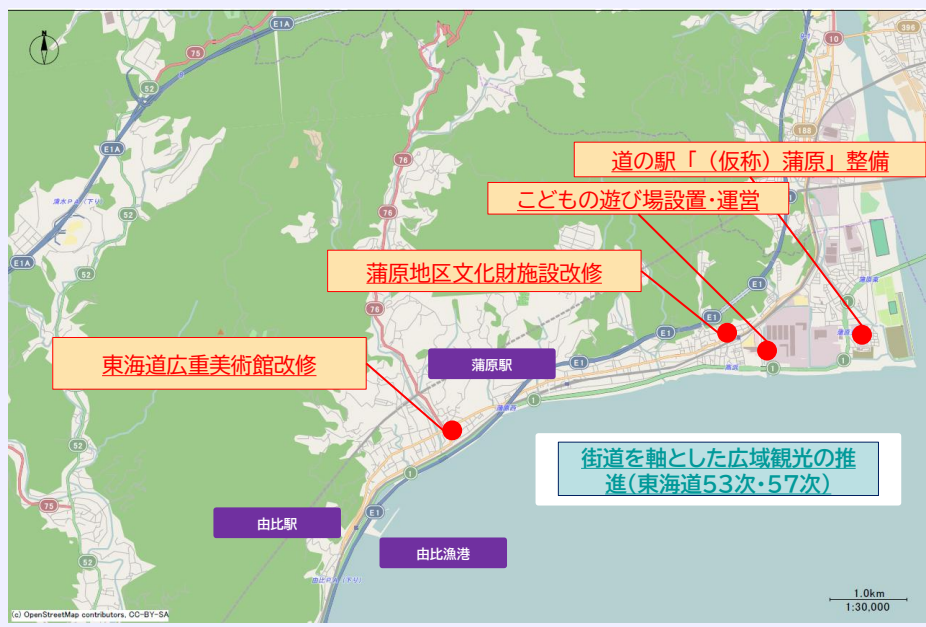
こんなことが実現されます

- 東海道の歴史や文化、景観を楽しみながらまち歩きができる。
- 地域の文化財を活かした学びや体験を楽しむことで、地域に対する愛着を持てるようになる。
- 地域ならではの食や特産品を楽しめる。
- こどもが天候を気にせず思い切り遊べる。

由比・蒲原地区周辺図

凡例： ハードの取組 ソフトの取組

※各取組の詳細は取組名をクリック！



蒲原地区文化財施設改修(志田邸、旧五十嵐歯科医院)

取組概要

歴史的建造物の改修・整備を行い、文化財の活用を通じて、地域住民や来訪者が蒲原の歴史や文化を知り、地域活動などに参加することで、地域への誇りや愛着を深め、まちなみや暮らしが次世代へ継承される。

- 旧東海道の町並みや歴史的建造物が数多く残る一方、人口減少などにより保存・活用の担い手が不足し、文化財の継承が課題になっています。
- 蒲原地区のシンボルである歴史的建造物を、まちづくりの拠点となるよう改修し、エリアの面的な環境整備につなげます。
- 地域の文化財を活用することで、蒲原の歴史や文化に触れ、来訪者との交流や地域活動を楽しむ機会が増えます。これにより、蒲原らしい景観を地域で守り、未来へつないでいくことができます。



旧五十嵐歯科医院外観

今後の予定

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
志田邸	耐震調査	耐震工事								
旧五十嵐	活用方針の検討		設計	監理・施工						

取組概要

静岡市東海道広重美術館の改修工事を行い、安全で快適に過ごせる環境を整備することにより、多くの観光客を呼び込み、観光消費を促進させるとともに、来館者が快適な施設環境を提供する。

- 歌川広重の浮世絵を中心に1400点を超える美術品を収蔵しており、国内外から多くの観光客が来館しています。
- 開館から築33年が経過し、主要な設備の老朽化が進んでいることなどから、設備の不良等による運営上のリスクが増大しているため、衛生、電気、空調等の各種設備を更新し、安全で快適に過ごせる美術館に改修します。
- 清水港客船をはじめとするインバウンド客の受入や街道観光の拠点施設の一つとして由比地域の観光客の増加と観光消費を促進させるとともに、来館者が快適な施設環境を提供します。



東海道広重美術館 外観



東海道広重美術館 展示室

今後の予定

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
工事(休館) ・衛生 ・電気 ・空調 ・建築	開館								

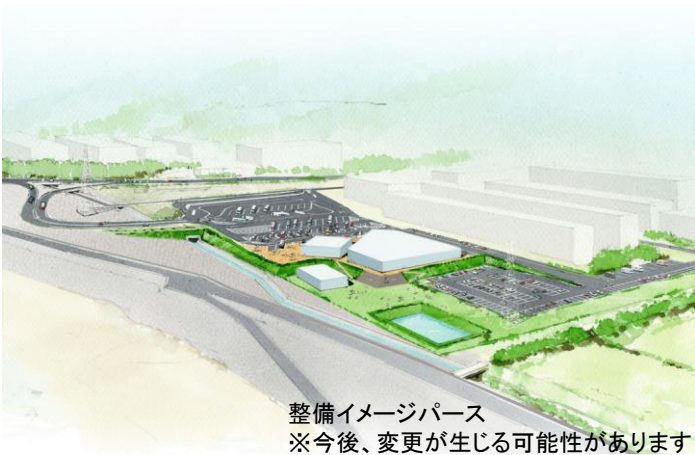
道の駅「(仮称)蒲原」整備

取組概要

道の駅を整備することにより、安心して休憩・避難できるとともに、地域の魅力を体験できるようにする。

- 道の駅「富士」では、駐車場不足により大型車の休憩・待避場所が不足しているほか、薩埵峠区間においては高潮や越波による通行止め時の防災機能強化が求められています。
- 休憩環境向上や災害時の一時退避・待機場所の確保できる道の駅を整備します。
- 道の駅整備により、休憩・防災機能が強化され、道路利用時の安全性・利便性が向上します。

また、静岡市の地域資源を活かした特産品の販売や集客施設が充実することで、地域産業の振興や雇用の創出につながるほか、地元のおいしいものを味わい、地場産品を購入し、日常では味わえない体験ができます。



今後の予定

道の駅「(仮称)蒲原」

2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
運営事業者選定	基本・詳細設計								
	用地取得								
※工事年度については現在調整中									

こどもの遊び場設置・運営(常設)

取組概要

屋内型遊び場の整備により、こどもが天候に左右されず思い切り体を使って遊べるようにする。

- 天候に左右されず、こどもが体を使って遊べる場が不足していたため、2024年以降、商店街の空き店舗や、廃校などを活用した遊び場を提供してきましたが、遊具や空調設備が不十分で、満足度・快適性が低い状況でした。
- そのため、旧蒲原・長田保健福祉センターを活用し、大型遊具や空調設備・休憩スペース等を備えた常設の屋内型遊び場を整備します。
- これにより、雨天時や猛暑でも、こどもが思い切り遊べる場ができることで、子育てのしやすさが向上します。



今後の予定

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
蒲原	設計	工事	供用開始							
長田	設計	工事	供用開始							

目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

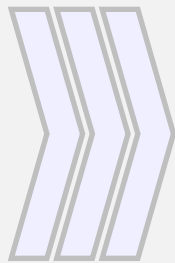
現状と課題

・静岡市は、食、スポーツ、芸術、歴史等の多様な文化資源を活用したまちづくりを進め、観光振興、スポーツ振興、文化芸術活動の支援、文化財の保存等に取り組んできました。

・これらの世界に誇れる文化資源を有しながらも、観光振興による地域経済活性化の視点が十分とは言えず、一人当たりの観光消費額や外国人旅行客数が少ない状況にあります。スポーツにおいては、これまでの健康増進の効果に加え、産業やビジネスによる地域活性化の効果を最大限活用する必要があります。文化芸術では、文化に触れる機会や文化を通じた交流の場はあるものの、より気軽に参加する機会の充実が求められています。また、文化財は、少子高齢化による担い手不足や文化財への関心の低下などにより保存・継承が困難となっており、文化財の劣化や滅失が進行しています。

・こうした課題を解決し、観光・スポーツ・文化を通じて、人々が心豊かになるようにするとともに、新たなビジネスの創出や市内への来訪者の増加により、地域経済を活性化することが求められます。

課題解決のための
具体的な取組



ガストロノミーツーリズムの推進

★取組概要

南アルプスから駿河湾までの標高差6,000mの自然に育まれた豊かな食材を活かし、「JIMI（滋味、地の味）ガストロノミーシズオカ」ツーリズムを推進する。来訪者がその背景にある歴史や人に触れ、食体験を楽しめる取組で観光誘客と周遊促進につなげる。



静岡市ならではの食体験



井川地区の在来蕎麦

お堀の水辺(葵舟)活用事業

★取組概要

駿府城周辺

駿府城公園・二ノ丸堀において、民間の企画力・経営能力等を活かした遊覧船「葵舟」の運航を支援し、駿府城公園周辺エリアの魅力向上と誘客を図ることで、観光客の滞在時間延伸と観光消費額を高めていく。



異櫓と葵舟



水縁祭の実施

街道を軸とした広域観光の推進
(東海道53次・57次)

★取組概要

由比・蒲原地区

日本遺産に認定されている静岡市、藤枝市の「二峠八宿」の豊富な歴史資源や、絶景、特産品、人々との交流を楽しめる場を提供する。東海道57次沿いの自治体と連携し「東海道」という大きな観光資源を活かして、誘客と周遊促進を進めていく。



薩埵峠



宇津ノ谷地区